

我ら、 レイボウ族

【第14回】

リ
デ
ン
プ
シ
ヨ
ン
・
ソ
ン
グ

古代フラダンスー
水野みさを

Logo design: misao

夏至。一年で最も陽が長い日。古代から太陽の禊ぎの日としてあらゆる民族が、大地に感謝し、祈りを捧げてきた。太陽は、どの文化にもどの人種にも平等だ。

Black Lives Matter

夏至が近づく今、8分46秒白人警官に首を押さえられ亡くなったジョージ・フロイド氏のニュースが世界を席巻している。これは黒人だけの問題じゃないと思ってしまう。

サンフランシスコ在住時、私はアフリカ系の人が多い地区に住んでいて、アフリカ系アメリカンの歴史を講義するイベントに、古代フラや、当時踊っていたアフリカダンスで出演させて頂くうちに、教科書には載っていない彼らの歴史を知っていった。黒人シスターたちやブラザーたちはアフリカがルーツであることを誇りに思い、私に歴史の目を開かせてくれたことに感謝したい。

彼らのご先祖様たちは、アフリカで奴隷商人に誘拐され、船に乗せられた。村長であろうとメディスンマンであろうと、捕らえられた瞬間から奴隷として扱われる。全裸にされ、ぎゅうぎゅうの船底で鎖につながれて運

ばれたのだ。だから、その子孫である黒人オバマ大統領が誕生したのはミラクルであったけれど、黒人大統領が生まれたからといって、黒人の日常で、偏見から



↑黒人による詩の朗読会でパーカッションしている私。この頃、アフリカ系アメリカ人の歴史を学んだ

の微妙なイジメが完全に消えることはなかった。

黒人の母が息子に言うには、ポケットに手を入れて歩くな(ガンを持っていると疑われる)、店では商品に触るな(万引きと思われる)、白人女性を見つめないように(レイプ未遂の疑いをかけられないように)など。何もしてないのに黒人だから逮捕されるのはよくある事だから、息子がトラブルに巻きこまれてはならない親心なのだ。

ウィルスミスのような黒人ハリウッドスターは特例で、一般的には、時代は変わっても黒人への社会的負荷は大きく、日常で受け続けてきた些細な差別やイジメからトラウマとなってしまう人も多い。

公民権運動の母ローザ・パークス

60年代、黒人の権利の為に闘った対照的な二人の人物がいた。マルコムXとキング牧師。マルコムXは「目には目を」と黒人による自衛武装隊ブラックパンサーを持ち、黒ベレーに黒の革ジャンにライフル銃。キング牧師はガンジーを心底尊敬し、あくまでも非暴力。そのキング牧師に黒人公権運動のきっかけを作ったのは一女性の勇気だった。

1955年12月、アラバマ州モンゴメリーに住むローザ・パークス(当時43)は、一日中立ちっぱなしのデパート勤務で疲れきっていた。市営バスの黒人専用席に座っていたにも関わらず、後から乗車した白人に席を譲るようバス運転手に指示されたが、頑としてこれに従わなかったことから逮捕されてしまった。若きキング牧師は、バスをボイコットしようと市民に呼びかけ、乗客の3/4である黒人だけでなく白人市民もボイコットに参加し、そのバス会社は破産寸前に追いこまれた。これが、アメリカの公民権運動の契機となったモンゴメリー・バス・ボイコットである。運動はさらに拡大し、1963年8月、全米から25万人集まったワシントンDC大行進でキング牧師は「I have a dream 僕には夢がある…いつの日か、白人と黒人が席を並べて学ぶ日が来ることを」とスピーチを残した。翌1964年、教育と雇用の機会均等を守る公民権法が成立。日本では、10月に東京オリンピックが開催された年だった。

公民権法が成立する1964年頃まで、有色人種であるアジア人もネイティブアメリカンもラティーノも黒人同様に法律上で差別されていた。わずか56年前の話だ。

医療費の高いアメリカで、新型コロナ感染死亡者は貧困層が高く、格差社会への反動から大暴動へと発展したが、故フロイド氏の弟は「それは兄が望んでいることではない」と暴動を制止し、「兄が8分46秒首を膝で押さえつけられていた映像を観ることができない。8時間46分を感じる。人にだって動物にだってしてはならない行為だ」と涙を拭いながら、正々堂々と警察改革法を議会に申請し、「我々はここから学んで、ふさわしい政治家を選んでいこう」と結んだことに私は深く感動してしまった。



世界中に飛び火した Black Lives Matter (黒人の命は大切)デモや暴動によって、イギリスやベルギーでは奴隷商人だった人物像が撤去され、アメリカでは人種差別の激しかった南部の将軍像や、アメリカ大陸発見者コロンブス像も先住民虐殺者として破壊された。今、勝ち組によって作られた歴史は、大きくひっくり返っている。

どうしてもボブ・マーリーのリデンプションソング(救いの歌)が浮かんでしまう。

「昔 略奪者どもはこの俺をカづくで捕らえ、
奴隷商人の船に売っ払った
そのすぐ後で 奴らは絶望のどん底に突き
落とされた俺を買取った
だが 俺の手は頑丈にできている
全能の神が授けてくれた手だ
大いなる誇りを持って
この時代を進んでいく
俺が今まで歌ってきたのは
全て解放の歌だ
この自由の歌を
一緒に歌ってくれないか
なぜなら俺が今まで歌ってきたのはすべて
救いの歌だ
救いの歌だけなんだ

精神的奴隷の状態から
自分自身を解放せよ
俺たちの精神(こころ)を解き放たれるのは
他の誰でもなく 俺たち自身なのだ

原子力など恐れるな
やつらに時まで止めることはできやしない
…」
(以下略。和訳：JAHさん)

あるメディスンウーマンは言った。「虹のどの色が欠けても世界は病気になってしまう」と。私たち様々な人種が虹の一つひとつの色を象徴するとしたら、分断は虹の七色をつなげない。そして虹の色は元々太陽の光だ。光が雲に反射して虹を成す。

今年はとりわけ特別な夏至を迎えそうだ。初めて日本で古代フラ奉納させて頂いた場が、富士山WPPD2004 夏至の祈り前日であった。世界は大きく変容しても変わりなく、朝陽に手を合わせ、すべてのつながるいのちに、Ho!

↑写真：ローザ・パークスさん (1956年撮影) - Don Cravens / The LIFE Images Collection / Getty Images